

吉田一四政策提案

「**変革** そして**未来への約束**」

合併後12年、合併の負の要素を和らげる目的で合併特例債を利用した大型事業を積極的に実施してきました。

次期4年間はその事業の効果を享受したうえで、合併本来の目的である

「スリムで効率的な自治体への転換」が必要な次節となります。

そのような中で、次世代への変革、そして未来への約束を政策提案します。

「**変革**」について **堅実な行政への変革** を目指します。

① 合併特例債事業の総仕上げ

消防体制の整備

昼間救急のみの体制であった加美区・八千代区について、その機能を強化し救急・消防の24時間体制を整備します。

中央公民館改修

加美・八千代のコミュニティプラザは公民館機能と生涯学習機能を合わせた施設として整備しました。中区においても老朽した中央公民館の根本的な対策を検討します。

重要道路の早期整備

兵庫県との太いパイプ利用し整備を進めます

これらの、大型事業を完成させ、住民の皆様へのサービス向上を図ります。

② スリムで効率的な行政システムへの変革

下水道施設の統合整理や新たなごみ処理施設の建設等、必要不可欠な社会インフラを効率的に運用して、行政経費の圧縮を図ります。合わせて、「民でできるものは民へ」と、行政サービスの産業化をめざし行政をスリム化します。

③ 職員の能力・資質の向上

職員としっかり対話し、個々の職員の能力を発揮させます。
住民の方のための仕事、行政は「黒子」を浸透させます。

「未来への 約束」について

- ① お年寄り、子供、人権を大切にすまちを約束します。
- ② 地域産業の育成と雇用確保
 - ・ 山田錦や林業を始めとした地域に根差した産業の育成をします。
 - ・ 積極的な企業誘致や起業を支援します。
- ③ 「子育てするなら多可町」と言われるまちを約束します。
 - ・ 近隣市町に負けない、医療・保育の体制を整えます。
 - ・ 子育て支援に予算を優先的に確保して
乳幼児を持つ母親を心身ともに支援する「子育て支援センター」を整備します。

これらに加え、真っ白な気持ちで、皆さんの話を聞いて歩く活動を精一杯行います。そして、これを通じてその声を行政に生かし「安全・安心・快適を実感できるまち」を目指してまいります。

学 歴 鳥取大学工学部 54卒
取得資格 1級土木施工管理技士・測量士
宅地建物取引主任者・防災士
職 歴 昭和54年 総合建設業 入社
昭和63年 中町役場 就職
平成17年 多可町図書館長
平成25年 理事兼防災監

